

## 第12回群馬県レジェンドCUPゴルフ場対抗競技 予選

■開催日：2024年7月10日（水）

■開催コース：メイレイクヒルズCC

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこの競技の条件・ローカルルールを適用する。本書に記載のない事項や追加変更がある場合は、競技規定やプレーヤーへの通知文書または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、本競技の条件とローカルルールの違反の罰は「一般の罰」（2罰打）となる。

### 競技の条件

#### 1. 参加資格

プレーヤーは競技実施要項に定められた参加資格を満たさなければならない。

#### 2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。

#### 3. スコアの提出

カートナビに入力し、登録ボタンを押すことによりスコアカードを提出されたものとみなす。

#### 4. クラブと球の規格

- (a) ストロークを行うために使うドライバーは、R&Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド（モデルとロフトで識別される）を持つものでなければならない。
- (b) ストロークを行うときに使用する球はR&Aが発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。

このローカルルールの違反に対する罰：失格

#### 5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない。

伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた1つあるいは複数の鋌を有するスパイク（メタル製、セラミック製、その他の材質かは問わない）

このローカルルールの違反に対する罰：失格

#### 6. プレーの中断と再開（規則5.7）

##### (a) 即時中断（落雷時、切迫した危険がある場合）

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない。委員会がプレーを再開するまでは、別のストロークを行ってはならない。このローカルルールの違反に対する罰：失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまですべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。

##### (b) 通常の中断

ゴルフ規則5.7b、c、d に従って処置すること。

##### (c) プレーの中断と再開の合図

- |                |   |                   |
|----------------|---|-------------------|
| 通常プレーの中断       | : | 無線及びカートナビにより通知する。 |
| 険悪な気象状況による即時中断 | : | 無線及びカートナビにより通知する。 |
| プレーの再開         | : | 無線及びカートナビにより通知する。 |

と同時に本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

## 7. 練習 (規則 5.2)

(a) ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面を擦ったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする事。

このローカルルールの違反に対する罰： 一般の罰 (プレーヤーの最初のホールに適用される)

## 8. タイの決定方式

競技実施要項に定められた通りとする。

## 9. 競技終了時点

競技委員長長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

10. 悪天候等により、プレーヤー全員が 18 ホールを消化できない場合は 9 ホールに短縮して競技成立とする場合がある。

## ローカルルール

### 1. 使用ティー

本競技の使用ティーは、男子が 白マーク、女子が 赤マークとする。

### 2. アウトオブバウンズ (規則 2.1)

アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

・全ホールの白杭をむすぶ線はすべてラインOBとし、球がこの線を越えて止まった場合は、他のホールのインバウンズにあってもOBとする。

### 3. ペナルティエリア (規則 17.1d)

レッドペナルティエリアは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は、線がその限界を標示する。

### 4. 修理地 (規則 16)

修理地は青杭・白線をもってその限界を標示する。

### 5. 動かさない障害物

a. 排水溝

b. 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物として扱われる。

c. 動かさない障害物と白線でつながれている区域 (その動かさない障害物の一部とみなす)

### 6. コールオンについて

ショートホールにおいて後続組がティーイングエリアで待っている時には、前の組との間隔を考慮したうえで全員の球をマークして拾い上げ、プレーヤーの判断で後続組にティーショットを打たせる事が出来る。

7. 4番ホール右側の池に入った場合は 1 罰打付加しドロップゾーンよりプレーすることができる。

このドロップゾーンは規則 14.3 に基づく救済エリアである。

8. ローカル・ルールの変更又は追加の時は、クラブハウス内に掲示する。

